

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【公開番号】特開2012-55397(P2012-55397A)
 【公開日】平成24年3月22日 (2012.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報2012-012
 【出願番号】特願2010-199578(P2010-199578)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 5 5

A 6 1 B 5/05 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月22日 (2013.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内蔵コイルと脱着可能な表面コイルを備えて被検体から放出される核磁気共鳴信号を受信する受信手段と、

前記表面コイルが磁気共鳴イメージング装置に接続されているか否かの接続状態を判定する接続状態判定手段と、

前記接続状態判定手段で前記表面コイルが接続されていないと判定した場合には、前記内蔵コイルで撮像するか否かの選択要求を提示する提示手段と、

前記内蔵コイルで撮像をしないとユーザが選択した場合に、ユーザが意図する接続状態に復帰させる改善機会をユーザに与える手段と、
 を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記接続状態の復帰は、前記表示手段の表示上で前記表面コイルを用いた撮像の設定により実行されることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記内蔵コイルで撮像するか否かの選択要求は、前記表示手段に表示されることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項 に記載の磁気共鳴イメージング装置において、

前記表面コイルが接続されていないと判定された場合には、前記被検体の検査部位の設置時に、前記表面コイルの接続状態を警告する手段を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項 に記載の磁気共鳴イメージング装置において、

撮像時に、前記内蔵コイルでの撮像を前記制御手段が判断することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置において、
前記被検体の検査部位の設定時に、前記表面コイルの接続不良を前記制御手段が判断する
ことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 7】

内蔵コイルと脱着可能な表面コイルが設けられ被検体から放出される核磁気共鳴信号を受信する受信手段を備えて、

前記表面コイルが磁気共鳴イメージング装置に接続されているか否かの接続状態を判定するステップと、

前記接続状態を判定するステップで前記表面コイルが接続されていないと判定した場合には、前記内蔵コイルで撮像するか否かの選択要求を提示するステップと、

前記内蔵コイルで撮像をしないとユーザが選択した場合に、ユーザが意図する接続状態に復帰させるステップと、

を有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置における受信コイル接続状態の確認方法。